

# SORA

web magazine 2015.dec. vol.65



## Mexico Cancun & Cozumel

カンクン・コスメルの海は、とっても異国な海なのだ!

MAP  
CLICK!

Photo & Text : Yasuaki Kagii

カリブ海に面したカンクン・コスメル。太平洋やインド洋に慣れた私たち日本人ダイバーにとって、そこは少し特別な海。見慣れないカリビアンフィッシュとの出会いは、ダイビングを始めた頃の新鮮な気持ちを思い出させてくれる。そして、神秘の世界へ誘ってくれる美しいセノーテでの淡水ダイビングも絶大なる人気を誇る。チチェン・イツァなどマヤ遺跡が眠るメキシコの楽園。贅沢&リーズナブルなリゾートに滞在して、いつもとは違った旅を楽しむ。



tsumi-shima tsumishima.com  
ダイバーの夢をつみあげていく島



(株)ワールドツアープランナーズ  
www.wtp.co.jp

© 2015  
World Tour Planners Co.,Ltd.  
All Rights Reserved.



驚き  
Surprise

# 異次元ダイブ・ セノーテ

Mexico  
Cancun  
& Cozumel  
メキシコ・カンクン & コズメル

カンクンのホテルゾーンから南に車で、約100キロ。1時間半の道のりの先にあるユカタン半島には、約3000個のセノーテがある。カンクンから行けるファンダイブでのセノーテは約10カ所。今回は、その中でも人気の高いチャックモールと言われるセノーテに行ってきた。チャックモールには、ふたつのセノーテが横並びになっていて、そのふたつとも全然趣きが違う。1本目に潜ったククルカンは、まさに光の宮殿。エントリーして右に進んでいくと、もうそこは光に溢れた世界。青い光の筋が水面から次々と飛び込んでくる。木々の隙間をぬって差し込む光は陰を持ち、また見る角度によって、光は色を変え、屈折し、まるで生き物のように私たちの前に現れる。この光を眺めながら一周ぐるっと泳ぐのだが、少し遠くから見るこの青い光のカーテンも良い。黒く縁取られた岩から眺めると、まるで異次元の宇宙のどこかに旅している気持ちになる。

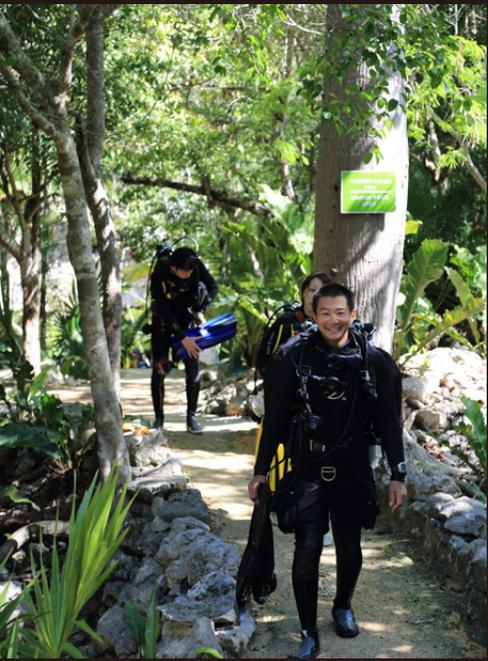


驚き  
Surprise

Mexico  
Cancun  
& Cozumel  
メキシコ・カンクン & コズメル

時間帯によって、次々と変化する光の軌道

# 驚き Surprise



Mexico  
Cancun  
& Cozumel  
メキシコ・カンクン & コズメル

## 水中鍾乳洞が大好きになる2本目

そして、2本目は隣にあるチャックモールへ。ここはひとつ水面上に木々が生き茂る水面を見ることができる大きな穴がある。下から眺めると海と森が繋がる不思議な趣きがある。また、それとは別の大きな見所は、ダイナミックな水中鍾乳洞。石灰層の地層が長い年月をかけて鍾乳洞を形成、氷河期の最後にその鍾乳洞が水没したのがセノーテの起源と言われている。セノーテが出来て、数千年の年月が経つが、世界的に見てもこの鍾乳洞（セノーテ）が一番若いと言われている。しかし、100年に1センチ程度しか成長しない氷柱のような鍾乳洞は、圧倒的な存在感で私たちの前に現れる。水中での造形も然り、エアポケットになっている空間に顔を出すと、まるで教会の

ような荘厳さも感じる。他にも水中で、カルサイトの結晶や歴史を感じる貝やサンゴの化石などがある。マヤ文明の遺跡で「生と死」を意味する彫り物などを見たが、このククルカンとチャックモールはその2面性があるように思えた。今でも、新しいセノーテは年間数個発見されている。おそらく全てのセノーテが繋がっているのでは、と言われている。カンクンは地震がほとんどないので、このように世界最大級の水中鍾乳洞が残っている。みなさんも是非、違うタイプのダイビングで異次元トリップを楽しんで欲しい。



# Ocean

## コスメル島での異国ダイビング

カンクンのホテルエリアから車で1時間南下して、大型フェリーを乗り継いで約45分でコスメル島に到着。カリブの南国らしい雰囲気の中、栈橋に到着した。1本目に潜ったのはパラダイスリーフ。水深12mに細長い根があり、潮の流れに乗りながらダイビングしていく。エントリーして下の砂地が見えた。あまり天気は良くなかったが、他の海よりも少し水色の濃度が高いカリビアンブルーが眼前に広がっていた。難なく水深12mまで降り、ガイドの後を付いて泳ぎ出した。最初に目についたのはクイーンエンジェルフィッシュ。青い海に青い身体のデザインがより映える。ガイドが指差す先には、4匹も集まっている。そして見るお魚が全て見たことのない外国顔。フエダイ、スズメダイ、フグなどなど全てが可笑的。太平洋とインド洋の魚種に慣れた私たちにとって、とても新しい海に潜っている感じ。初めて海に潜ったときはこんな新鮮な感覚だったんだろうな、と本当に思えた。全然見たことのないお魚の中で、気がついた唯一の顔見知りのお魚がソウシハギだった…（一気に現実に…笑）。そして、接近しても怖じしないフレンチエンジェルフィッシュなどカリブ海ならではのお魚に挨拶して最初のダイブを終えた。

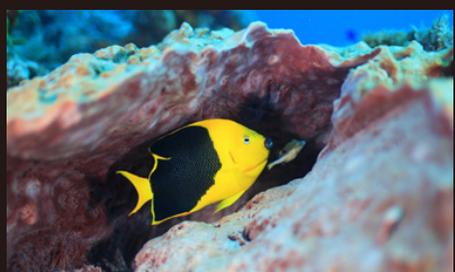
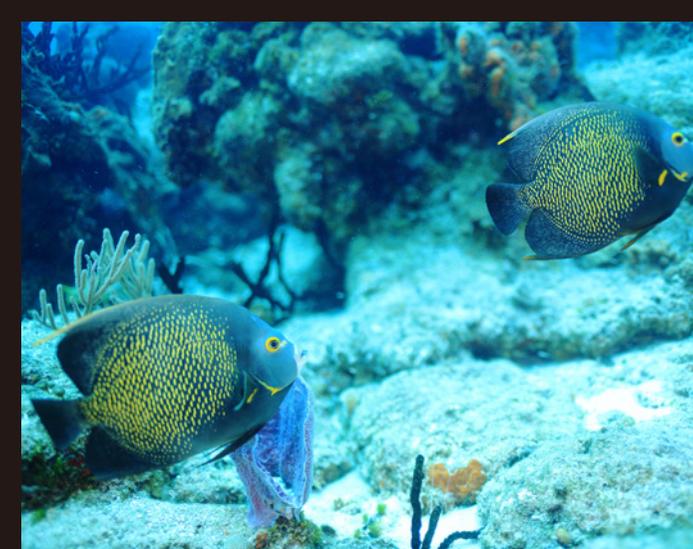
## Mexico Cancun & Cozumel

メキシコ・カンクン & コスメル



## サメからブレニーの威嚇行動まで

コスメルでのダイビングは、それほど難しいダイビングではないように思える。今回は、3日間で6本潜ったが、外洋からインリーフに入るコーナードライブのようなものはない。基本的に一直線で、潮流に乗ってダイビングをする。ダイビングスタイルは、午前2ポートダイブが主流で、リクエストベースで午後もポートダイブを行う。ポイントまでの所要時間は、ダイビングセンターの位置がまちまちなのだが、およそ10分~1時間。朝一は深度のあるポイントを選択して、2本目は浅瀬のポイントに行く(午後からも浅瀬のポイント)。今回、朝一で行ったポイントのひとつにパソデルセドラルウォールがあった。エントリーして意外と潮の流れがあることに驚いた。直線的にダイビングをしていくので問題はないが、少し写真撮影のために立ち止まっていると、グループから引き離される感じ(笑)。それでも、生き物たちは面白かった。ナースシャークは岩陰にいたり、泳いでいる個体も何匹も見つかった。また、後半にはメキシカンガイドがウミウシや鏡を使って、威嚇のポーズを取るパイクブレニーなども見せてくれた。これはなかなかのガイド力だと、正直嬉しくなった。また、後半にはトンネルが連続する地形ポイントも楽しめた。コスメルの色んな表情がみれたポイントだった。



2ダイブ目は、浅瀬のトルメントスというポイントへ。水底がおよそ12mほどのポイントで、潮の流れもほとんどない。ほぼ全てのポイントで、コスメルに来たら必ず会いたいお魚のひとつ、トードフィッシュがいたが、ここではなんと穴からわざわざ大きく顔を出してくれた。そして、ゆっくりと進んでいくと色んな箇所で大形の各種エンジェルフィッシュに出会う。彼らに何度も感じたことだが、彼らは物怖じしない、というかこちらに向かって泳いで来てくれる。岩陰に居るのを見つけると、わざわざ出て来てくれるし、泳いでいるのに近づいていくと、彼らは一度、こちらに泳ぎ出し、興味を示してくれる。もちろん全ての個体ではないが、多くがそうだ。そんな、私たちににとってはとても珍しい魚種が挨拶にやってきてくれるのは、とても嬉しいことなのだ。

3日目は、午前中の2ダイブ。午後からもリクエストしたが、取材時期がハイシーズンの終わりで、催行するには、午後にエントリーするダイバーの数が足りなかった…。さて、1本目は、好ポイントで有名なサンタロサへ。ここはドロップオフのポイントで、地形とお魚たちを楽しんでいく。最初、ドロップオフ沿いに進んでいく。潮の上手からどんどん大型のエンジェルフィッシュがやってくる。大きなハタとの出会いも。そして、途中から水深10mほどの棚上で、トンネルを潜ったりと地形ダイブ。大きなエビが外を堂々と闊歩していて、みんなのモデルに。最後は砂地で尻びれの黄色いギンガメアジや大きなエイとご対面して、充実ダイブを終える。



2本目は、もっとお魚ライフが見たいとリクエストして、エントリーしたのが、ロッキーポイント。平均水深は浅い12mほどで、思ったよりも潮流があり、少し早歩きで散歩した感じに。ここはトードフィッシュが多いことで選ばれ、ガイドさんは一生懸命に私に見せてくれるが、もう既に納得のいく写真を撮影していたので、軽くスルー。最後のダイビングだと思い、カリビアンなお魚たちに挨拶がてら撮影していく。後半にはみんなのモデルとなったバラクーダや、餌に夢中のタイマイ、アカウミガメに出会った。タイマイはよく見えるそうだが、食事中に大接近を許してくれたアカウミガメは珍しい！とガイドも絶賛。最後まで生き物まみれのカリビアンダイブを楽しむことができた。

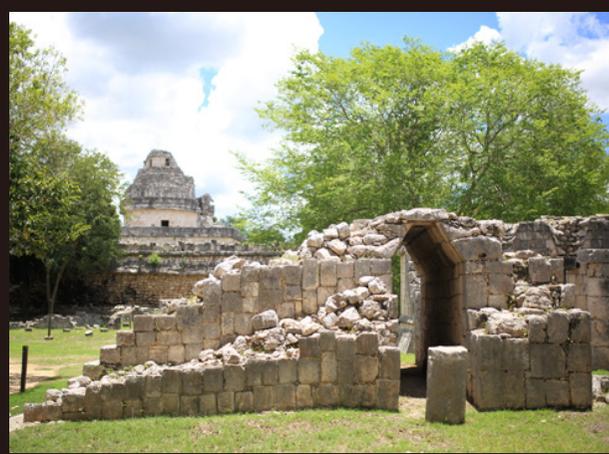
## 6ダイブだったけど、充実した時間だった

# Rロマンス Romance

## 謎に包まれた マヤの古代遺跡と セノーテスイム



Mexico  
Cancun  
& Cozumel  
メキシコ・カンクン & コズメル



### 巨大な古代遺跡<チチェン・イツァ>

カンクンから西に約250 km。ジャングルの中に位置するマヤの巨大な古代遺産。1988年にユネスコの世界文化遺産に登録、2007年には新世界七不思議に選ばれた。約6万キロ平方mの広大なエリアに北と南の2つのセクションがあり、北側が900年から1200年代のもの、南側が400年から800年代のものとなる。一番有名なのが北側にあるエル・カステージョ。スペイン語でお城という意味でピラミッドとも呼ばれ、建物全体がカレンダーになっている。そして、戦士の神殿、球戯場、ドクロの彫り物が並ぶ生け贄の台座など見所がたくさん。今回はメキシコトラベルファクトリーさんにお世話になり、日本語ガイドの説明もあった。マヤ文明やチチェン・イツァについて造詣を深め、興味深く周れた。個人的には生け贄の習慣が入る前の南側のセクションに惹かれた。球体の美しい天文台や雨乞いをした丸い台座、セノーテの底に住んでいた雨の神様・チャークがたくさん並ぶ尼僧院など少し優しい気持ちになれる見所が多い。見学はとにかく暑いので、帽子の用意や水分補給もしっかり行いたい。

# Rロマンス Romance

約3時間、チチェン・イツァのツアーを楽しんだ後は、昼食を食べ、神秘の泉、セノーテで泳ぐことに。今回は、まだ日本ではあまり知られていないサムラとシケケンをご紹介します。サムラは鍾乳洞の天井に小さな穴があり、そこからの一条の光が差し込む。シケケンも大きな鍾乳洞とツタが見所だが、浅瀬もあり、子供も楽しむことができる。チチェン・イツァでかいた汗を落とすことができ、かつ神秘の泉でのひと時は、大変な癒しとなる。そして最後は、スペイン統治時代の名残りであるコロニアル建築が並ぶバジャドリドを少し散策して1日のツアーを終えた。

## ダイビングでは行かないセノーテ



Mexico  
Cancun  
& Cozumel  
メキシコ・カンクン & コズメル



# 行動 Action

カリブ海に面したカンクン。高級ホテルが立ち並ぶホテルゾーンと言われるリゾートエリアと地元の人が住むセントロ(ダウンタウン)に分かれている。今回は、ショッピングセンターやレストラン、ナイトクラブがある北側半分に位置するホテルを2つご紹介。

## クリスタル・カンクン

### Krystal Cancun

7のような形をしたホテルゾーンの右肩の部分に位置するホテル。バスやタクシーに乗らなくても、ショッピングモールやレストランに行ける立地が素敵。若者や家族連れが多く、気取らないカジュアルな雰囲気が魅力。海沿いにある緩やかな曲線を描くプールをはじめ、レストランやバーは、南国のリゾート感が満載。新館のクリスタルクラブや、旧館のデラックスオーシャンビューはベランダ付きなので、器材を干すダイバー向け。室内はすべて、明るく清潔感がある。ホテルに隣接しているメキシカンレストラン「Mortero」は現地ガイドさんもお薦め。お洒落でメキシコムードが満点。



# Mexico Cancun & Cozumel

メキシコ・カンクン & コスメル

## クリスタル・グランド・プンタ・カンクン

### Krystal Grand Punta Cancun

カンクンのホテルゾーンの中心地に位置する。円柱状の建物で、館内に入ると14階まで吹き抜けとなった空間がリゾート感を演出する。客室数は、全295室で、3つのカテゴリーがある。3つの滞在スタイルがあり、宿泊だけと、宿泊+朝食付きと、オールインクルーシブがある。隣に位置する同経営のクリスタルカンクンよりも少し落ち着いた感じの雰囲気がある。館内のレストランの他に、3つのオリジナルレストランを併設。アジアンフュージョン料理の「Ayumi」とイタリアンレストランの「Risotto」、そして肉や新鮮なシーフードを提供してくれる「The Grill」。



## コスメル滞在のダイバーには、異なる2つのタイプの宿泊施設をご紹介

街の中心に位置する「カサ・メヒカーナ」での滞在は、朝食付きのエコミーなスタイルでダイビングの後は、街で買い物や外食を楽しむ。また、オールインクルーシブタイプの「フィエスタ・アメリカーナ・カンクン」での滞在は、街の中心地から離れているのでリゾート滞在になるが、オールインクルーシブで、食事、お酒、チップも全て料金に含まれているので、リゾート感を十二分に満喫できる。

## Mexico Cancun & Cozumel メキシコ・カンクン & コスメル

### フィエスタ・アメリカーナ Fiesta Americana

2014年の9月にリニューアルオープンしたオールインクルーシブのホテル。以前はオレンジ色を基調としていたが、リニューアル後は、白と水色の爽やかな雰囲気となった。広い敷地内を上手く利用した造りになっていて、メインの建物内には、アジア料理、メキシカン、イタリアンのレストランがあり、ブレックファーストやランチは海に面したレストランが用意されている。軽食を含めたレストランはリゾート内に計7つ。客室も可愛い感じの調度品でまとめられて、メキシカンテイストを楽しむことができる。フェリーの乗り場から車で20分と距離があるので、滞在中はリゾート内で楽しみたい。



### カサ・メヒカーナ・コスメル Casa Mexicana Cozumel

高速フェリーの着くサンミゲルの街中にあり、とにかく便利なりゾートホテル。絨毯やランプを販売するお洒落なお店が1階に入り、2階にロビーや開放的なプールがある。客室は88室で、オーシャンビューとシテイビューがあり、室内は広々と清潔感もある。ホテルの中央は吹き抜けとなっていて、明るい日差しが随所に差し込み、センスの良い調度品と素敵な空間を演出する。ビュッフェ方式の朝食も人気で、シェフ手作りのメキシコ料理が並ぶ。



## QUEEN ANGEL

カンクンにある日本人経営のダイブショップ。今年で15周年を迎える。知識、経験が豊富な日本人インストラクターが全てのダイビングツアーに同行するので言葉の心配もない。ホスピタリティのあるスタッフばかりで、ライセンス取りたてのビギナーダイバーでも安心して潜ることができる。また、ガイド陣も水中撮影するので、アドバイスしてもらうことができる。ツアー中に撮影した写真のプレゼントの特典付き。セノーテをはじめ、カンクン、コスメルの全てのダイビングポイントを網羅。夏はジンベイザメスノーケル、冬はバショウカジキのスノーケルとブルーシャークダイビングなど催行。ブログは毎日更新しているので、海の様子を確認できる。



## ダイブハウス(コスメル島)

以前は、フィエスタ・アメリカーナ・コスメルに併設されていた現地ダイビングセンター。現在は、Hotel Secrets Aura、Hotel Sunscape Sabor、Hotel Casa Del Mar の3つのホテル内にある。以前は、日本人ダイブマスターが在住していたことで日本人ダイバーのゲストも多く利用していた。(現在は日本人ダイブマスターは不在)。5隻のダイビング専用ボートと7名のダイブマスターが揃うコスメルでも老舗のダイビングセンター。サービスや施設、ボートなどプロフェッショナルな心使いを見せる。ダイビングセンターがコスメルの南に位置するためポイントも南側が中心。サンタロサやパラカガーデンズ、シードロウォールなどの有名ポイントに良く行く。



## アクアサファリ(コスメル島)

コスメルの町中にある、島で最も古いダイビングセンター。日本人ダイバーがよく活用する カサ・メヒカーナの近くにあり、何かと便利。コスメルバラスにも店舗がある。去年からダイビングボート3隻を所有、メキシカンインストラクター5名。ダイブマスター7名の大所帯。今回、ガイドをしてもらったが、マクロの生き物にも精通していたので驚いた。通常午前に2ダイブ、午後にも1ボートダイブを開催。午後は一人からでも催行するので、ハイシーズン以外の来島でも無駄なくダイビングができる。またナイトダイビングが定期的に行われている。

